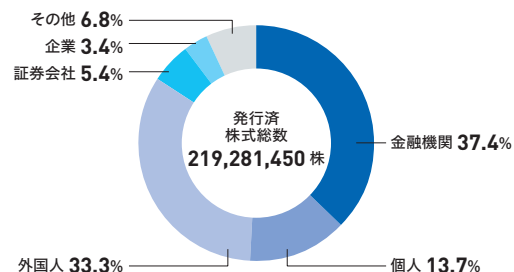


## 株式の情報 (2020年9月30日現在)

### 大株主の状況

順位	株主名	所有株式数	持株比率
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,739,700	14.93%
2	株式会社日本カステディ銀行(信託口)	16,511,000	7.52%
3	アルプスアルパイン株式会社	14,755,243	6.72%
4	MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	5,554,800	2.53%
5	MSIP CLIENT SECURITIES	4,099,531	1.86%

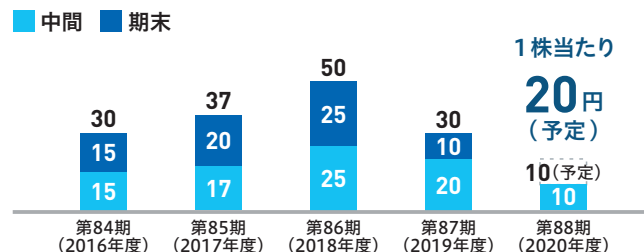
### 所有者別分布状況



(注) その他は、自己名義株式と保管振替機構名義の失念株式、政府・地方公共団体株式の合計です。

(注) 個人は、個人・持株会名義の株式です。

### 配当金推移 (単位)(円)



※第86期(2018年度)中間期までは旧アルプス電気単体の配当金額です。

## 株主メモ (2020年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
基準日	定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日 期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日 中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日 その他あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月下旬
公告掲載	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="https://www.alpsalpine.com/j/ir/announce.html">https://www.alpsalpine.com/j/ir/announce.html</a> ) に掲載します。 なお、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京(第一部)証券コード6770
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ホームページ <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

三菱UFJ信託銀行証券代行部 検索

### 【ご注意】

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、お取り引きのある証券会社などにお問い合わせください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

### 株式事務に関するお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行証券代行部 テレホンセンター

お問い合わせ ☎ 0120-232-711

受付時間: 土・日・祝日等を除く平日9:00 ~ 17:00

# ALPSALPINE

証券コード 6770

# ALPS ALPINE REPORT

No. 174

## 第88期 第2四半期報告書

アルプスアルパイン株式会社  
2020年11月27日

ALPSALPINE  
アルプスアルパイン株式会社

〒145-8501 東京都大田区雪谷大塚町1番7号  
TEL (03) 3726-1211 (大代表)  
(03) 5499-8026 (IR部門直通)



こちらの報告書PDFは、認証紙に印刷された認証印刷物のデータを使用して作成しました。



## 経営構造改革による統合シナジーを加速し、 中期経営計画の目標である 「ITC101」実現へと邁進します。

皆様へ

年の瀬が近づき、朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

上半期のエレクトロニクス業界は、自動車市場においてはCASEへの開発が引き続き活発な中、世界の新车販売台数は減少し、民生その他市場においてもスマートフォンの世界販売台数が減少する等、新型コロナウイルスの流行により総じて低調に推移しました。

この中で、当社の電子部品事業における車載市場では次世

代プラットフォームへのセンシング技術の開発を進め、民生その他市場では新型コロナウイルスの流行による巣ごもり需要でゲーム機向けやPC向けの操作デバイスが増加するとともに、衛生面に配慮したタッチレス操作パネルの提案等、様々な動きが活発に進んでいます。

車載情報機器事業では、電子部品事業とのシナジー効果によるデジタルキャビン向け製品開発の加速等に注力しました。また、物流事業（(株)アルプス物流）では、新たに大型の自動化設備を導入したほか、拠点・ネットワークの拡充を継続しています。

さて、新型コロナウイルスの流行に収束の兆しが見えない中で、我々の生活様式はニューノーマルと呼ばれる新たな日常へと転換し、企業における働き方もテレワークの導入等が一気に加速しました。このような環境の中、当社においては経営統合シナジーの加速、One ALPS ALPINE の推進による

経営構造改革に加えて、更にコスト構造改革を断行することで今年度220億円のコスト削減を計画し、中期経営計画の目標である「ITC101」達成に向けて、更なる努力を重ねていく所存です。

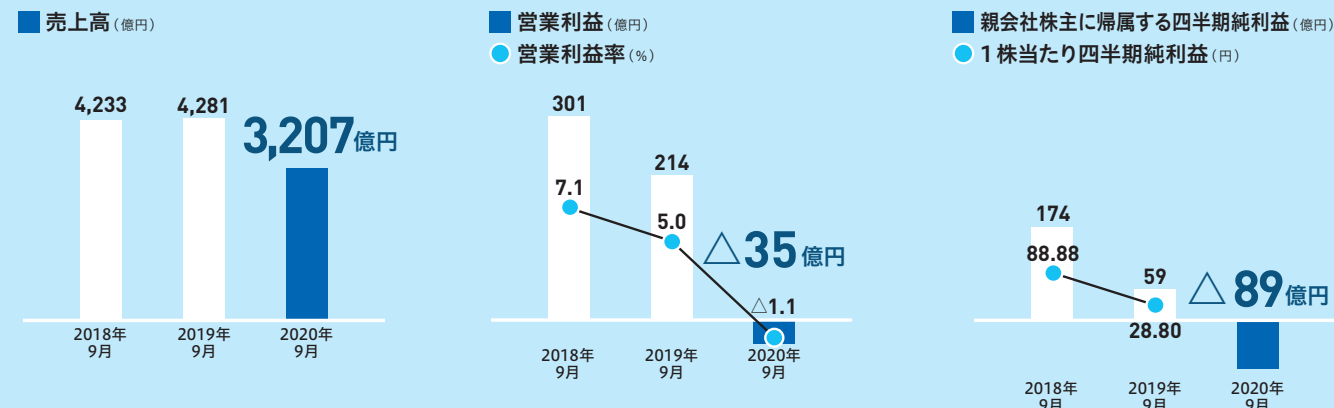
最後に、当期の中間配当は1株当たり10円とさせて頂く予定です。皆様には、今後も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **栗山年弘**

〈用語解説〉

**CASE** Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric（つながる車、自動運転、シェアリング、電動化） **ITC101** Innovative T-shaped Company with 10% operating income margin and 1 trillion yen sales（革新的T型企業、連結で営業利益率10%・売上高1兆円の中長期達成目標）

## 連結業績ハイライト

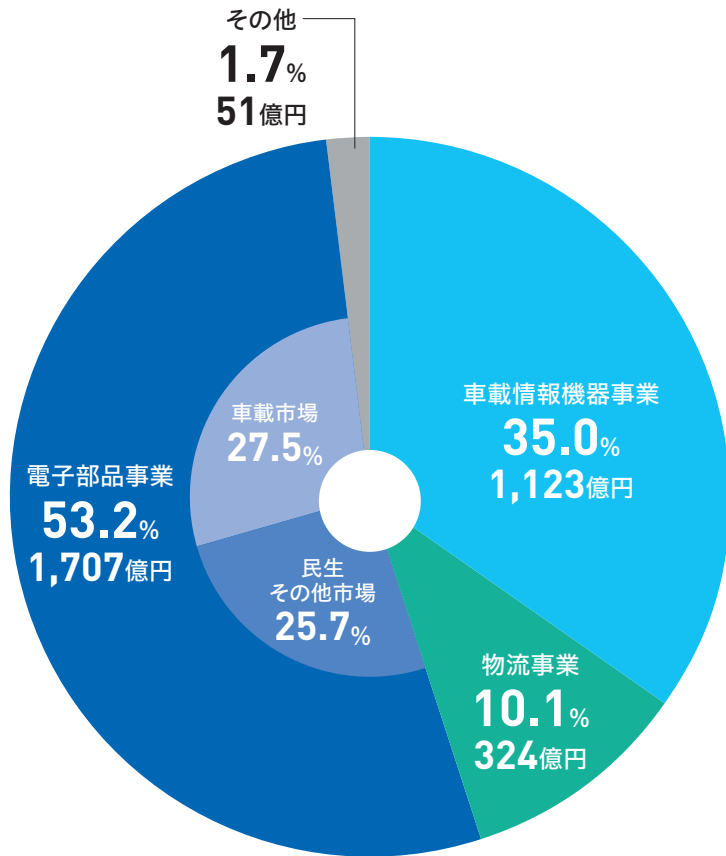


## 通期の見通し

▶ 売上高	<b>7,025</b> 億円 (前期比 13.3% 減)
▶ 営業利益	<b>130</b> 億円 (前期比 51.5% 減)
▶ 経常利益	<b>105</b> 億円 (前期比 43.7% 減)
▶ 親会社株主に帰属する当期純利益	<b>30</b> 億円
▶ 想定為替レート	米ドル/円 <b>105</b> ・ユーロ/円 <b>124</b>
▶ 1株当たりの配当金(単体)	<b>10</b> 円(中間) <b>10</b> 円(期末予定)

# 事業別の概況 (2020年4月1日～2020年9月30日)

売上高構成比率



## POINT

- ✓ 電子部品事業では次世代センシング技術の開発推進や衛生面に配慮した製品提案を展開
- ✓ 車載情報機器事業ではデジタルキャビン向け製品開発やアライアンスを加速
- ✓ 物流事業ではネットワーク拡充の継続や輸出入事業拡大に向けた体制を強化

## 電子部品事業

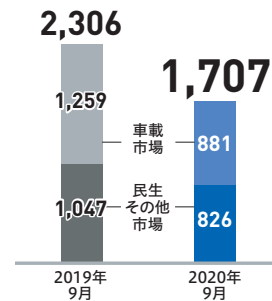
売上高

**1,707** 億円

営業利益

△ **13** 億円

売上高の推移 (億円)



### 車載市場、民生その他市場ともに新型コロナウイルス流行の影響が大きく低調に

エレクトロニクス業界は、EHII各市場ではAIやロボティクスの活用による新しいビジネスの展開等が進みましたが、自動車市場で世界の新车販売台数の減少、モバイル市場でも世界販売台数が減少するなど、各市場ともに新型コロナウイルス流行による影響が大きく、マイナス成長となりました。

#### 車載市場 CASE時代を見据えた次世代センシング技術の開発を推進

次世代プラットフォームへの顧客ニーズに対応した製品開発を進め、海外自動車メーカーより卓越した付加価値の創造等を評価され、表彰を受けました。

〈用語解説〉EHII Energy, Healthcare, Industry, IoT AI 人工知能

#### 民生その他市場 タッチレス操作パネルがCEATEC AWARD 2020でグランプリを受賞

環境センサビジネスの拡大に向けてSensirion Holding AG(スイス)と戦略的パートナーシップの締結や衛生面に配慮したタッチレス操作パネルの提案等を行いました。



## 車載情報機器事業

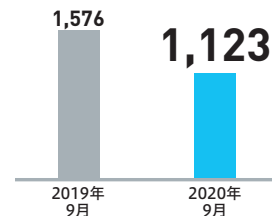
売上高

**1,123** 億円

営業利益

△ **39** 億円

売上高の推移 (億円)



### 自動車市場は業種・業態の異なる企業間の開発激化や新车販売台数の減少等により低調

電子部品事業とのシナジー効果によるデジタルキャビン向け製品開発の加速、ブロックチェーン技術を活用したカーシェアリング向けデジタルキーの開発、また自動運転に5Gのプラットフォームを活用するための開発を図り、さらに自動車に卓越したオーディオシステムを提供することを目的に、音響分野では世界的な知名度を誇るマッキントッシュグループと提携しました。



## 物流事業

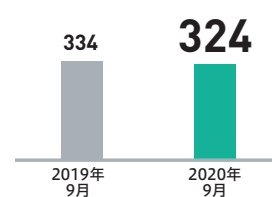
売上高

**324** 億円

営業利益

**14** 億円

売上高の推移 (億円)



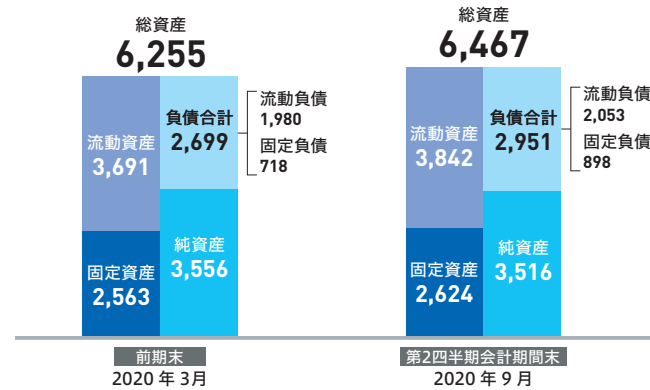
### 外出自粛や在宅勤務等により宅配ビジネスが好調

(株)アルプス物流(東証第二部)では、生産性向上の取り組みの一環として、日本で新たに大型の自動化設備を導入した倉庫を稼働しました。海外においては、拠点・ネットワークの拡充を継続し、中国では8月に通関業の専門子会社を設立し、通関業務の迅速化による輸出入事業拡大に向けた体制強化を図りました。

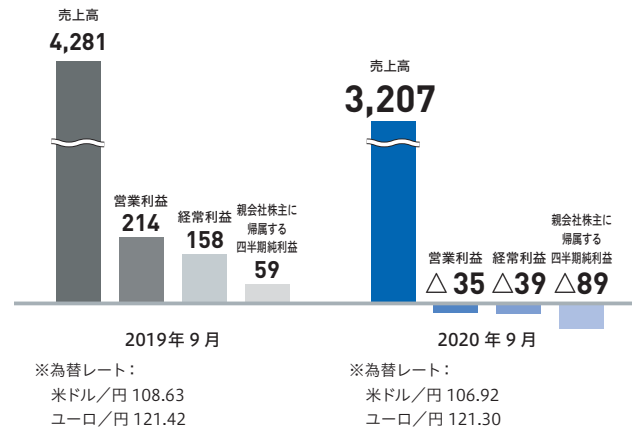


# 連結財務ハイライト (2020年4月1日～2020年9月30日)

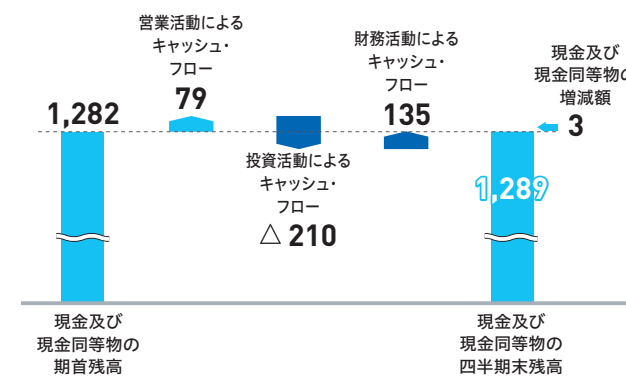
## 連結貸借対照表の概要 (億円)



## 連結損益計算書の概要 (億円)



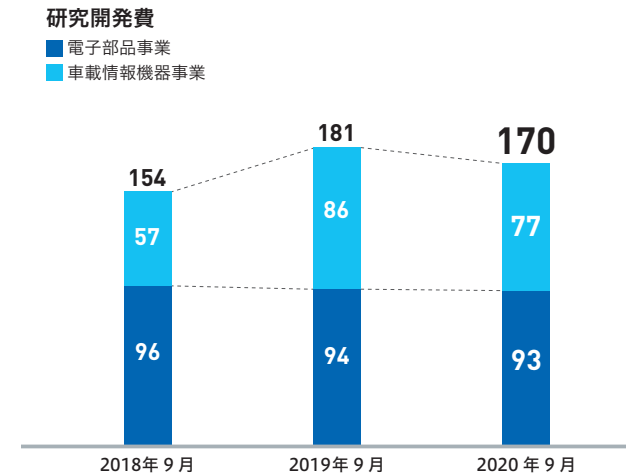
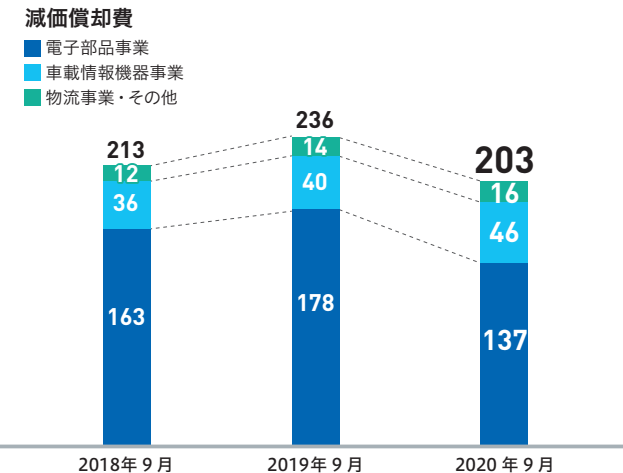
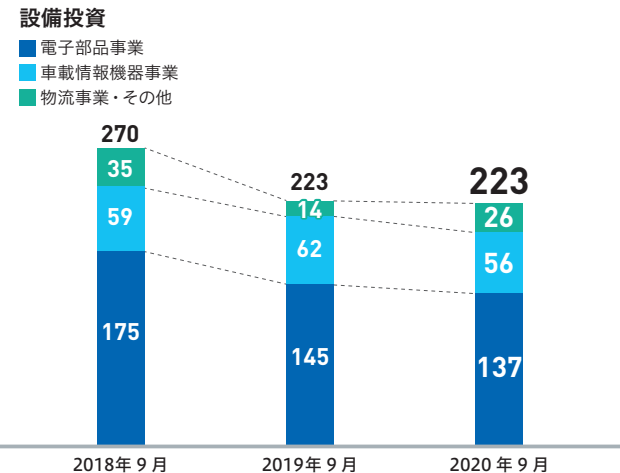
## 連結キャッシュ・フローの概要 (億円)



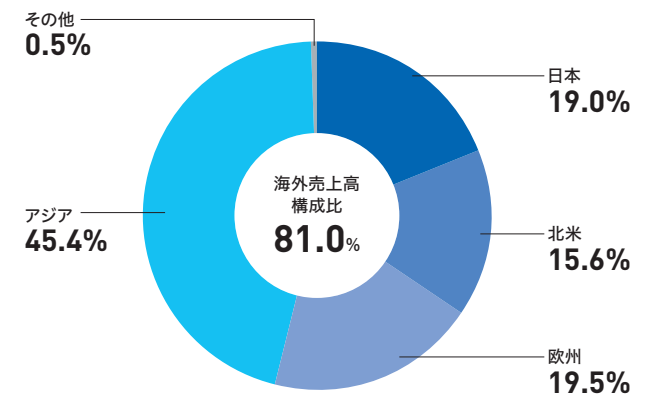
## POINT

- ① 流動資産**  
受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末と比べ151億円増加の3,842億円となりました。
- ② 固定資産**  
投資有価証券、機械装置及び運搬具の増加と、建設仮勘定の減少等により、前連結会計年度末と比べ61億円増加の2,624億円となりました。
- ③ 負債合計**  
流動負債は、支払手形及び買掛金の増加と、未払費用の減少等により、前連結会計年度末と比べ72億円増加の2,053億円となりました。  
固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ179億円増加の898億円となりました。

## 設備投資・減価償却費・研究開発費の推移 (億円) ※内訳には連結消去を含んでおりません。



## 地域別売上高構成比



# 中期経営計画の進捗状況

## コスト構造改革

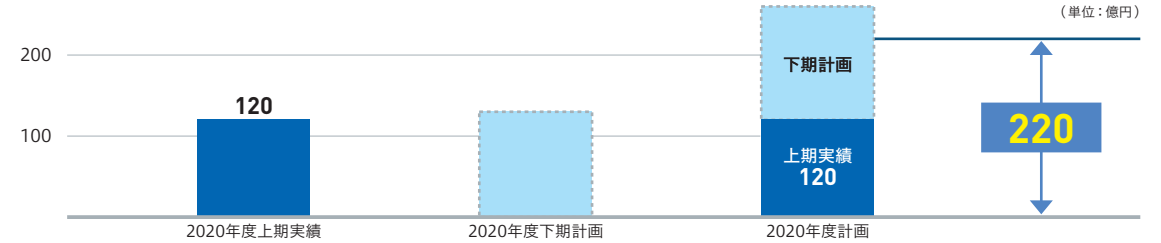
3年累計で440億円のコスト削減を目指す

第1次中期経営計画(2019～2021年度)	2019年度実績	2020年度	2021年度	3年累計 440
材料費・加工費削減 (原価率を維持する改善を超える削減額) 固定費・間接費削減(継続効果)	40	120	160	
固定費・間接費削減(単年度効果)	20	100		

(単位:億円)

2020年度 上期実績 120  
2020年度 下期計画 120  
2020年度計画 220

上期120億円のコスト削減 計画以上の達成  
下期は上期以上の改善額を目論む



## 事業構造改革

### T型モデル



### T型モデルによるビジネス拡大とアライアンス(M&A含む)の推進

#### デジタルキャビンビジネス

**Digital Cabin Active safety**

- インテリジェントステアリング/ゾーンサウンドシステム
- 大型曲面ディスプレイ
- プレミアムHMI
- 統合ECU HPRA (High Performance Reference Architecture)

#### アライアンス事例(2018年度～Press Release)

##### 事業アライアンス

- <HMI領域製品> 東海理化と共同開発等を基本合意
- <車載高級オーディオ> マッキントッシュグループと戦略的提携
- <乗用車用タイヤセンサ> 横浜ゴムと共同開発
- <IoT市場の拡大> Sigfox SA.(フランス)と戦略的提携
- <Cellular-V2X オールインワンモジュール> 大唐電信(中国)と戦略的提携

##### 技術アライアンス

- <ミリ波レーダ> Accneer AB(スウェーデン)と資本及び技術提携
- <セキュリティ技術> フリービット社と資本及び技術提携
- <高精度位置測位センサ> Greina Technologies, Inc.(アメリカ)の完全子会社化

強み

快適操作ソリューションを実現する  
独自開発の高感度静電容量センサ

創出価値

“ニューノーマル”社会の  
タッチレス化に貢献

自動車や家電など多彩な領域で  
新たな操作を可能にする

# タッチレス 操作パネル



## POINT

- 1 独自の高感度静電容量センサの搭載で触れない操作を実現
- 2 社会のタッチレスニーズに応え“ニューノーマル”に貢献

アルプスアルパインが提案するタッチレス操作パネルは、タッチパネルの利点を生かしつつもパネルに触れて操作することに対する抵抗感を減らし、安心・安全かつ快適な操作を提供します。検出したデータを独自開発したアルゴリズムで処理することで、手・指の位置やジェスチャーに応じた多彩な操作を実現。直接パネルに触れて操作したいニーズを考慮し、タッチ操作にも対応しています。



「タッチレス操作パネル」は、CEATEC AWARD 2020において「ニューノーマル社会を支える要素技術・デバイス部門」グランプリを受賞いたしました。

## 高感度のタッチパネルの開発で 「触れない」「触りたくない」抵抗感を解消

直感的な操作を可能にするタッチパネルはスマホや病院・ホテルの受付などさまざまな場所・用途で採用が進んでいます。本製品は当社が独自開発した高感度静電容量センサにより、タッチレス操作を実現。タッチパネルに触れた跡による暗証番号の漏洩、指紋の盗難などのセキュリティリスクや、パネルに触れることへの抵抗感といった課題を解決する新しい技術として注目を集めています。

誰が触ったか  
分からない



タッチパネルが  
汚れている



**Q** タッチレス操作パネルの仕組みってどうなってるの？

**A** 高感度静電容量センサを利用して位置や接近を感知しています。

指を近づけると、液晶パネル上に敷き詰められたセンサと電極との間の静電容量が変化



タッチレス操作は高感度静電容量センサを利用して実現しています。操作面にはセンサと電極と人との間に発生する静電容量<sup>\*</sup>が変化することで、人の位置や動作を検知する技術を用い、手をかざしたり、ジェスチャーをするだけで操作が可能になります。スマホのタッチパネルなどもこの技術によって動作していますが、本製品に搭載されたセンサは高感度のため、パネルに触れない操作が可能となります。手や指の動きに連動する画面デザインや音によるフィードバックを組み合わせ感覚的に操作できる工夫も凝らしています。

<sup>\*</sup>離れて配置された2つの導電体間において、どの程度の電荷が蓄えられるかを表す量

# CEATEC 2020 ONLINE

## アルプスアルパイン初のオンライン出展

CEATEC 2020はイノベーションで新しい市場を創出しSociety5.0<sup>※</sup>を実現する次世代型展示会として、「つながる社会、共創する未来。」をテーマに10月20日から4日間、オンラインで開催されました。アルプスアルパインでは“①「移動」を、「感動」へ。Emotion in Mobility”、“② Toward a Safe and Secure Society 安心で安全な社会へ”を出展コンセプトに参加、ニューノーマル社会を支える最新のテクノロジーを紹介しました。

※サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）



### 担当者の声

初めてのオンライン開催にあたり、来場者に関心を持ってもらえるようなコンテンツ作りとセミナーのライブ配信をきっかけとしてお客様との接点を増やすなどの点を工夫しました。今後は今回の経験を活かし、幅広い情報発信による販売活動のサポートに繋げていきたいと思っています。



営業本部 マーケティング部2G  
樋口 瑠奈さん

### アルプスアルパイン出展のコンセプト



#### ①「移動」を、「感動」へ。 Emotion in Mobility

乗員の五感に訴える新たな移動空間や、これまでにない安心・快適・感動を生み出す製品&サービスなど、モビリティの未来を見すえた取り組みを進めています。

#### ② Toward a Safe and Secure Society 安心で安全な社会へ

培ってきた高性能・高品質の製品展開に加えて、市場のニーズをとらえたサービスやシステムを導入。もっと安心・安全な社会を実現するための取り組みです。

### PICK UP! >>> デジタルキャビン

「デジタルキャビン」とは車を単なる移動手段ではなく、光や音、香りによって乗員の五感に訴え、新たなワクワクを体験できる特別な空間にする、アルプスアルパインが提案する車の新しい形です。



2020年  
8月

マッキントッシュグループと  
アルプスアルパインが  
車載用高級オーディオ向け提携

アルプスアルパインとマッキントッシュグループのオーディオブランドであるマッキントッシュ・ラボ社、ソナス・ファベール社は、限定車への優れたオーディオシステムの提供に向け、技術提携を結びました。

マッキントッシュ・ラボ社は70年、ソナス・ファベール社は35年以上にわたり、オーディオ機器メーカーの金字塔として最高級のホームオーディオシステムを他社に先駆けて提供してきました。一方で、アルプスアルパインは自動車業界における50年以上もの経験を有し、マッキントッシュ・ラボ社とソナス・ファベール社の厳格な基準に応える製品を実現することが可能です。この技術提携により、各社の強みを融合して真に価値のある音響体験を車室内に実現します。

マッキントッシュ・ラボ社とソナス・ファベール社のサウンドシステムを初搭載した自動車は2021年に販売される予定です。

マッキントッシュ・ラボ社について	1949年設立。マッキントッシュ製品は全て150名超の従業員によって手作りされ、お客様だけのプレミアムオーディオ体験を創造しています。
ソナス・ファベール社について	イタリアの高級オーディオ機器メーカーとして独自の方法で音楽製品のデザインに取り組み、リスナーを伝統とイタリア文化、そして熟練の技術の世界へと誘います。

2020年  
10月

車両の一元管理を低コストで実現する  
「位置情報監視システム」を開発。  
レンタカー事業者向けに10月から販売開始

アルプスアルパインは、車両位置測位アプリケーションとそれを搭載した携帯型デバイス、及び位置管理コンソールをパッケージ化し、車両の一元管理を低いコストで実現する「位置情報監視システム」を開発しました。アルパインマーケティング株式会社と連携して、レンタカー事業者向けに10月より販売を開始します。

新たに開発した「位置情報監視システム」では、レンタカー利用者に車両の位置測位アプリケーションが搭載された専用の携帯型デバイスを車両と一緒に貸し出すことで、リアルタイムに複数台の貸し出し済み車両の位置を地図画面上で確認することができます。また、事前の設定で返却時刻を管理者に再度通知を行うことによって、返却車両の受け入れ準備漏れを防止。さらに、利用者側の携帯型デバイスには返却時間間に合うよう帰店を誘導する返却喚起メッセージを自動送付。返却遅延を未然に防止します。

主な特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両位置を管理画面で一元管理</li> <li>・管理者・利用者への返却時間前/超過時の通知機能</li> <li>・車両位置測位アプリケーションから携帯型デバイス、管理者用コンソールまで一括提供</li> </ul>
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタカー業者向けの車両一元管理</li> <li>・ログデータ収集による新サービスの創出</li> </ul>

第87回定時株主総会開催

6月24日、本社ホールにて新型コロナウイルスの感染防止対策を行った上で、第87回定時株主総会を開催しました。

今回は4つの議案が上程され、いずれも賛成多数により原案通り承認、可決されました。

新任取締役のご紹介

第87回定時株主総会において、新任取締役4名が選任されました。



取締役 **佐伯 哲博**  
2020年4月  
当社 常務執行役員 生産担当 兼  
情報システム担当 兼 生産本部長 (現任)



社外取締役 **藤江 直文**  
2014年6月  
アイシン精機株式会社  
代表取締役副社長 (2018年6月退任)



社外取締役 **隠樹 紀子**  
2004年10月  
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
投資銀行本部  
シニアアドバイザー (2018年6月退任)



取締役 (監査等委員) **小林 俊則**  
2019年4月  
当社 執行役員  
経営企画・経理・財務担当  
(2020年6月退任)

社名	アルプスアルパイン株式会社
英文社名	ALPS ALPINE CO., LTD.
設立	1948年11月1日
資本金	387億3,000万円 (2020年9月末現在)
従業員数 (連結)	39,527人 (2020年9月末現在)
事業内容	オートモーティブ・モバイル・エネルギー・ヘルスケア・IoT・インダストリー各分野の各種電子部品・電子機器の研究・開発・製造・販売

ホームページのご紹介

トップページ



<https://www.alpsalpine.com/j/>

IRページ



<https://www.alpsalpine.com/j/ir/index.html>